

# 伊那谷・経済動向

## 中小企業景気レポート



アルプス中央信用金庫

<http://www.alupuschuo-shinkin.jp/>

ALSHIN  
BANK

主要指標		今期	前年同期	前年同期比
有効求人倍率 (伊那公共職業案内所管内)		24/11 0.66 倍	23/11 0.70 倍	前年同月比 -0.04 倍
電力使用量 (伊那営業所管内)	電灯	9~11月 79,357千kwh	9~11月 80,271千kwh	-1.14 %
	電力	9~11月 244,271千kwh	9~11月 255,379千kwh	-4.35 %
自動車新規登録台数 (松本自動車検査 登録事務所管内)	新車	6,362 台	6,675 台	-4.69 %
	中古車	1,805 台	1,560 台	15.71 %
	合計	8,167 台	8,235 台	-0.83 %
住宅新設着工数 (戸建、共同住宅を含む) (上伊那地方事務所管内)		9~11月 243 件	9~11月 164 件	48.17 %
駒ヶ岳ロープウェイ乗車客数		65,448 人	65,098 人	0.54 %
中央道利用台数 (伊北インター分)	入	301,805 台	297,294 台	1.52 %
	出	287,285 台	282,647 台	1.64 %
中央道利用台数 (伊那インター分)	入	417,673 台	408,015 台	2.37 %
	出	428,849 台	421,029 台	1.86 %
中央道利用台数 (駒ヶ根インター分)	入	331,216 台	325,329 台	1.81 %
	出	333,349 台	327,993 台	1.63 %
中央道利用台数 (松川インター分)	入	266,906 台	261,274 台	2.16 %
	出	264,051 台	259,663 台	1.69 %

前期 7 - 9月    今期 10 - 12月    来期 1 - 3月    4 - 6月の四半期毎集計

※このレポートは、当金庫のお取引先218社に対し、平成24年10月~12月期の景気の現状と平成25年1月~3月期の見通しを調査したものです。

## 地区内の景況観

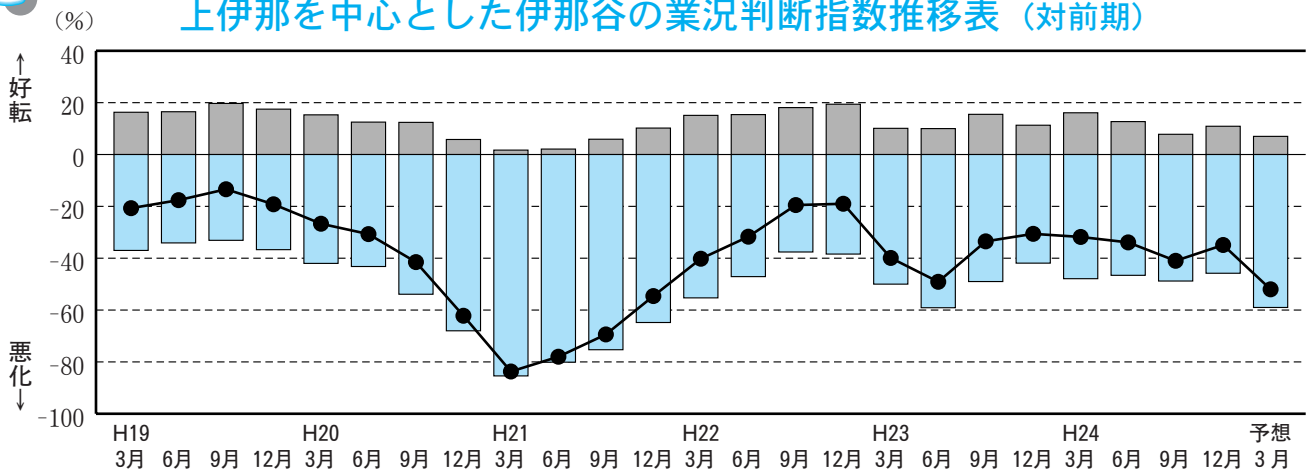
◇**今期の業況**：今期の上伊那地区内の業況を総合的に見ると、良かったとする企業は10.9%（前期7.8%）、悪かったとする企業は45.8%（前期48.8%）で、DIは▲34.9（前期▲41.0）と前期より6.1ポイント改善した。企業の業況感は円高や海外経済の減速などに加え中国との関係悪化などの要因に左右されており、今後も重大な影響を及ぼす事象であることから、引き続き先行き不透明な状態となっている。

業種別のDIを見ると、**製造業▲48.6**（前期▲47.4）、**建設業▲18.6**（前期▲26.7）、**卸売業0.0**（前期0.0）、**小売業▲37.2**（前期▲59.5）、**サービス業▲35.4**（前期▲38.7）、**不動産業▲16.7**（前期▲20.0）となっており、卸売業を除いた業種においてマイナス領域である。前期と比較して、水面下ながら**建設業8.1ポイント**、**小売業22.3ポイント**、**サービス業3.3ポイント**、**不動産業3.3ポイント**改善しているが、**製造業のみ1.2ポイント悪化**した。

◇**来期の見通し**：来期の業況を総合的に見ると、DIは▲52.0（今期▲34.9）と17.1ポイント悪化となる予想となっている。

業種別で見ると、DIは**製造業▲56.6**（今期▲48.6）、**建設業▲30.9**（今期▲18.6）、**卸売業▲40.0**（今期0.0）、**小売業▲60.0**（今期▲37.2）、**サービス業▲71.0**（今期▲35.4）、**不動産業▲16.7**（今期▲16.7）と全業種でマイナス予想となっており、不動産業以外は大きなマイナス見通しとなっている。今期と比べると**製造業は▲8.0ポイント**、**建設業▲12.3ポイント**、**卸売業▲40.0ポイント**、**小売業▲22.8ポイント**、**サービス業▲35.6ポイント**悪化予想となっており、2桁台の大幅悪化を予想する業種がほとんどである。2013年は下期にかけて弱含みながら回復傾向との見方もあるが、当地区においては今期改善した反動もあり、年度当初は大きく悪化すると予想する企業が大半を占めている。

上伊那を中心とした伊那谷の業況判断指数推移表（対前期）



※棒グラフは業況判断指数、折れ線グラフはDIを表しています。

※DIとは、増加（好転）企業割合から減少（悪化）企業割合を差し引いた数値で、どちらの力が強いかで業況を判断しています。

なお、「仕入価格」については下降割合から上昇割合を、「販売価格」については上昇割合から下降割合をそれぞれ差し引いた数値で判断しています。

## 業種別天気図

業種	時期	平成24年	平成24年	平成24年	平成25年
		4～6月期	7～9月期	10～12月期	1～3月期予想
総合		☔	☔	☔	☔
製造業		☔	☔	☔	☔
建設業		☔	☁	☁	☔
卸売業		☁	☁	☁	☔
小売業		☔	☔	☔	☔
サービス業		☔	☔	☔	☔
不動産業		☁	☁	☁	☁



# 製造業

(調査先企業 81 社 うち回答企業 76 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**13.2%**（前期**7.7%**）、悪かったとする企業は**61.8%**（前期**55.1%**）でDIは▲**48.6**（前期▲**47.4**）と1.2ポイント悪化幅が拡大し、なお一層厳しさを増した。

各指標別で見ると、売上額では前期に比べDI▲**39.5**（前期▲**21.8**）で17.7ポイントと大きく悪化した。受注残においてもDI▲**32.9**（前期▲**24.3**）と8.6ポイント悪化した。また収益のDIは▲**36.8**（前期▲**24.3**）で12.5ポイント悪化した。資金繰りのDIは▲**30.2**（前期▲**24.4**）で5.8ポイント悪化した。原材料価格のDIは▲**7.9**（前期▲**5.2**）と横ばい傾向であり、76.3%の企業は原材料価格が不変であると回答しているが、販売価格のDIは▲**21.1**（前期▲**10.2**）で10.9ポイント悪化しており、受注減少による売上高の低下が収益を圧迫している。

前年同期比で見ると売上額はDI▲**40.8**（前年同期▲**20.7**）と20.1ポイント減少し、収益面においてもDI▲**42.1**（前年同期▲**24.7**）と17.4ポイント大きく悪化している。売上が減少とした企業は**60.5%**（前年同期**51.9%**）あり、その結果収益も**57.9%**（前年同期**49.4%**）の企業が悪化したと回答している。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、良いと予想する企業は**6.6%**（今期**13.2%**）、悪いと予想する企業は**63.2%**（今期**61.8%**）で、DIは▲**56.6**（今期▲**48.6**）と8.0ポイント悪化すると予想しており、引き続き低水準で推移する見通しである。

主な指標では、売上額はDI▲**44.7**（今期▲**39.5**）と5.2ポイント悪化し、受注残はDI▲**36.8**（今期▲**32.9**）で3.9ポイント悪化する予想となっている。資金繰りのDIは▲**36.9**（今期▲**30.2**）と6.7ポイント悪化と予想しており、売上が伸びない状況下で各企業の資金繰りは相変わらず厳しいことが伺える。借入を予定している企業は**24.3%**（今期実施**26.3%**）で今期とほぼ同水準となっている。設備投資の実施を予定している企業は**33.3%**（今期実施**32.6%**）で、景気の先行不安や欧州、中国等の景気の動向が不透明なため、今期同様7割弱の企業は設備投資を控えている。

## ◆DI指数推移

	平成23年	平成24年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	▲20.8	▲25.3	▲38.4	▲47.4	▲48.6	▲56.6
売 上 額	▲3.9	▲26.6	▲19.0	▲21.8	▲39.5	▲44.7
受 注 残	▲7.8	▲30.3	▲24.0	▲24.3	▲32.9	▲36.8
収 益	▲18.2	▲36.7	▲29.5	▲24.3	▲36.8	▲44.7
販 売 価 格	▲13.0	▲16.7	▲16.5	▲10.2	▲21.1	▲15.8
原 材 料 価 格	▲26.0	▲16.5	▲6.4	▲5.2	▲7.9	▲2.6
原 材 料 在 庫	6.5	10.3	1.3	6.4	6.6	1.3
資 金 繰 り	▲26.0	▲29.1	▲32.9	▲24.4	▲30.2	▲36.9

## ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成23年	平成24年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	38.2%	43.0%	36.7%	42.3%	26.3%	24.3%
	しない	61.8%	57.0%	63.3%	57.7%	73.7%	75.7%
借 入 難 易 度	容 易	6.6%	10.4%	11.5%	16.7%	12.2%	—
	不 変	68.4%	63.6%	62.8%	59.0%	59.4%	—
	難	11.8%	15.6%	10.3%	11.5%	14.9%	—
	該当なし	13.2%	10.4%	15.4%	12.8%	13.5%	—

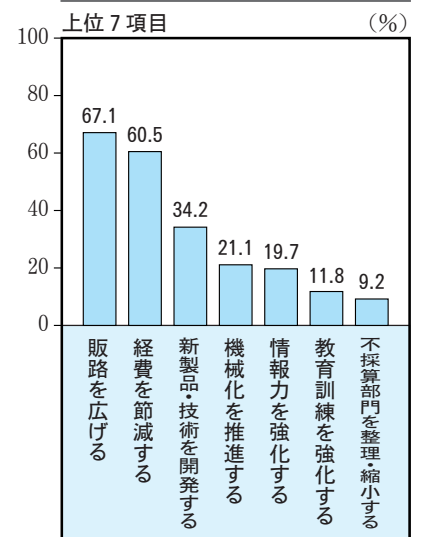
## ◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成23年	平成24年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実 施	した	41.5%	48.0%	42.1%	35.3%	32.6%	33.3%
	しない	58.5%	52.0%	57.9%	64.7%	67.4%	66.7%
状 況	過 剰	15.8%	14.1%	11.4%	17.9%	21.1%	21.1%
	適 正	68.4%	76.9%	73.4%	61.6%	67.1%	67.1%
	不 足	15.8%	9.0%	15.2%	20.5%	11.8%	11.8%
D I	0.0	5.1	▲3.8	▲2.6	9.3	9.3	

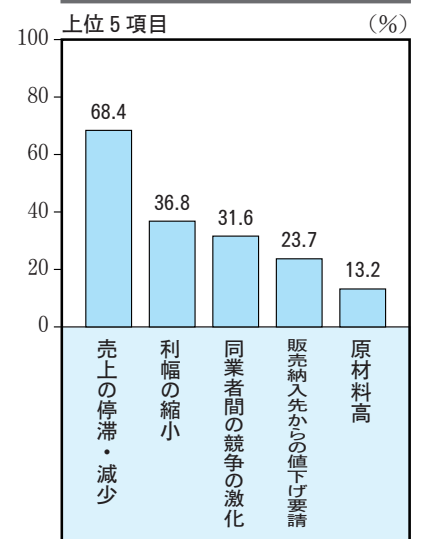
## ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成23年	平成24年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	23.4%	15.2%	12.7%	12.8%	17.1%	6.7%
	不 変	55.8%	53.2%	56.9%	55.1%	46.1%	54.6%
	減 少	20.8%	31.6%	30.4%	32.1%	36.8%	38.7%
人 手	過 剰	14.3%	29.1%	15.2%	20.5%	26.3%	26.7%
	適 正	77.9%	58.2%	78.5%	71.8%	65.8%	69.3%
	不 足	7.8%	12.7%	6.3%	7.7%	7.9%	4.0%

## 重点経営施策（複数回答）



## 経営上の問題点（複数回答）



# 建設業

(調査先企業48社 うち回答企業43社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**18.6%**（前期**11.1%**）、悪かったとする企業は、**37.2%**（前期**37.8%**）で、DIは**▲18.6**（前期**▲26.7**）と**8.1**ポイント改善したものの、全体的に受注は低迷しており厳しい状況が続いている。

各指標別を見ると、売上額はDI**▲4.5**で**9.2**ポイント増加し、3期連続で持ち直している。受注残はDI**▲2.3**（前期**▲15.6**）と**13.3**ポイント改善した。また、施工高もDI**▲2.2**と**11.5**ポイント増加し3期連続持ち直した。価格面では請負価格がDI**▲20.9**（前期**▲17.8**）と**3.1**ポイント悪化した。材料価格はDI**▲20.9**（前期**▲2.2**）と**18.7**ポイント減少し、価格が上昇したとする企業の割合は**20.9%**であった。収益面はDI**▲9.3**（前期**▲15.6**）で**6.3**ポイント改善したが、収益が増加したと回答した企業は2割程度にとどまっている。資金繰りについては、DI**▲34.8**（前期**▲31.1**）と**3.7**ポイント悪化した。4割の企業が資金繰りが苦しいと回答している。

前年同期比で見ると、売上額はDI**▲27.2**と**36.5**ポイント大幅に改善し、収益面はDI**▲13.9**（前年同期**▲36.4**）と水面下ではあるが**22.5**ポイント好転した。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、DI**▲30.9**（今期**▲18.6**）と**12.3**ポイント悪化予想となっており、他業種と比べ好況感が強かったが、来期は低調感を強める景況予想である。

各指標別においては、売上額はDI**▲4.7**と**21.4**ポイント悪化し、厳しい状況となる見通しである。受注残はDI**▲2.3**（今期**▲2.3**）と**16.8**ポイント悪化し、売上額と同様に減少する見通しである。収益面のDIは**▲19.1**（今期**▲9.3**）と**9.8**ポイント減少する見通しで、受注の減少により各項目で悪化が予想される。資金繰りはDI**▲38.1**（今期**▲34.8**）と**3.3**ポイント悪化し、売上減少に伴い資金繰りの悪化を予想する企業が増加する見通しである。

※「売上高＝完成工事高」、「施工高＝出来高」、「請負価格＝受注額」

## ◆DI指数推移

		平成23年	平成24年				予 想
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
業 況		▲26.6	▲22.2	▲32.6	▲26.7	▲18.6	▲30.9
売 上 額		2.2	▲17.4	▲28.9	▲4.5	4.7	▲16.7
受 注 残		2.2	▲22.2	▲13.3	▲15.6	▲2.3	▲19.1
収 益		▲22.2	▲26.1	▲40.0	▲15.6	▲9.3	▲19.1
請 負 価 格		▲15.5	▲41.3	▲35.6	▲17.8	▲20.9	▲33.3
材 料 価 格		▲33.3	▲23.9	▲15.6	▲2.2	▲20.9	▲19.0
在 庫		▲2.3	6.6	6.7	8.9	4.8	7.3
資 金 繰 り		▲37.8	▲28.3	▲33.3	▲31.1	▲34.8	▲38.1

## ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

		平成23年	平成24年				予 想
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
借 入 実 施	し た	62.2%	58.7%	54.5%	54.5%	57.1%	46.3%
	し ない	37.8%	41.3%	45.5%	45.5%	42.9%	53.7%
借 入 難 易 度	容 易	11.1%	6.5%	9.3%	2.4%	4.9%	—
	不 変	57.8%	60.9%	62.8%	59.5%	60.9%	—
	難	24.4%	23.9%	20.9%	26.2%	22.0%	—
	該当なし	6.7%	8.7%	7.0%	11.9%	12.2%	—

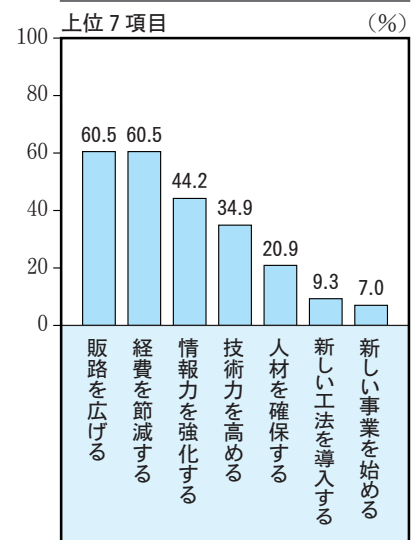
## ◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

		平成23年	平成24年				予 想
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
実 施	し た	25.0%	16.0%	18.8%	32.7%	36.0%	26.5%
	し ない	75.0%	84.0%	81.2%	67.3%	64.0%	73.5%
状 況	過 剰	2.2%	10.9%	14.0%	13.6%	4.9%	7.5%
	適 正	84.5%	78.2%	76.7%	75.0%	80.5%	75.0%
	不 足	13.3%	10.9%	9.3%	11.4%	14.6%	17.5%
DI		▲11.1	0.0	4.7	2.2	▲9.7	▲10.0

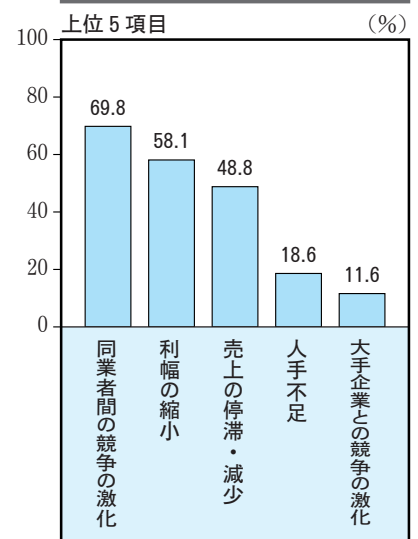
## ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

		平成23年	平成24年				予 想
		10～12月	1～3月	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
残 業 時 間	増 加	6.7%	8.9%	4.4%	4.4%	14.0%	21.4%
	不 変	80.0%	75.5%	64.5%	64.5%	79.0%	66.7%
	減 少	13.3%	15.6%	31.1%	31.1%	7.0%	11.9%
人 手	過 剰	17.8%	13.0%	26.7%	17.8%	9.3%	14.3%
	適 正	57.8%	63.1%	57.7%	66.6%	53.5%	54.7%
	不 足	24.4%	23.9%	15.6%	15.6%	37.2%	31.0%

## 重点経営施策（複数回答）



## 経営上の問題点（複数回答）



## 卸 売 業 (調査先企業 11 社 うち回答企業 10 社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**0.0%**（前期**0.0%**）で、悪かったとする企業は**0.0%**（前期**0.0%**）で**DI0.0**（前期**0.0**）と前期と同様であり、業況は落ち着きを見せている。

各指標別に見ると、**売上額**は、前期比では**DI10.0**（前期**▲11.1**）と**21.1**ポイント大幅に改善された。**販売価格**は**DI0.0**（前期**▲22.2**）で**22.2**ポイント上昇し、価格の動向は上昇傾向となっている。**仕入価格**の**DI**は**0.0**（前期**11.1**）と**11.1**ポイント下降した。**収益面**は**DI10.0**（前期**0.0**）と**10.0**ポイント上昇し収益は改善された。**資金繰り**については**DI▲10.0**（前期**▲11.1**）で**1.1**ポイント増加し、資金繰りに苦慮している企業は1割程度となっている。**借入れ**を実施した企業は**11.1%**（前期**37.5%**）と減少、**設備の状況**については適正とする企業は**90.0%**（前期**87.5%**）とほとんど変化はない。**設備投資の実施**をした企業は**10.0%**（前期**11.1%**）と設備関連においては横ばいとなっている。

前年同期比で見ると、**売上額**は**DI▲10.0**（前年同期**37.5**）と**47.5**ポイントと大きく悪化した。**収益面**も**DI10.0**（前年同期**25.0**）と**15.0**ポイント前期を下回った。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、**DI▲40.0**（今期**0.0**）と大幅な低下予想であり、水面下での伸び悩みが予想される。

主な指標で見ると、**売上額**の**DI**は**▲40.0**（今期**10.0**）と**50.0**ポイント減少し、低調傾向が予想される見通しである。**収益**の**DI**も**▲30.0**（今期**10.0**）と**40.0**ポイント減少し、売上額と同様に悪化が予想される見通しである。**販売価格**は変わらないと見る企業が**90.0%**と多く、**仕入価格**も、変わらないと見る企業が**90.0%**と同率であり、仕入れおよび販売価格は大きく変動しない見通しである。**借入れ**を予定している企業は**22.2%**（今期実績**11.1%**）と今期より**11.1**ポイント増加する見通しである。**設備投資の実施**を予定している企業は**0.0%**（今期実績**10.0%**）で来期の設備投資を実施する企業はない見通しである。

## ◆DI指数推移

	平成23年	平成24年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	12.5	18.2	▲20.0	0.0	0.0	▲40.0
売 上 額	37.5	▲27.2	▲40.0	▲11.1	10.0	▲40.0
収 益	12.5	▲18.2	▲30.0	0.0	10.0	▲30.0
販 売 価 格	0.0	▲18.2	0.0	▲22.2	0.0	10.0
仕 入 価 格	▲25.0	18.2	▲10.0	11.1	0.0	▲10.0
在 庫	12.5	9.1	20.0	22.2	10.0	10.0
資 金 繰 り	▲12.5	▲27.3	0.0	▲11.1	▲10.0	▲20.0

## ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成23年	平成24年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	28.6%	50.0%	44.4%	37.5%	11.1%	22.2%
	しない	71.4%	50.0%	55.6%	62.5%	88.9%	77.8%
借 入 難 易 度	容 易	0.0%	20.0%	20.0%	0.0%	0.0%	—
	不 変	75.0%	60.0%	70.0%	85.7%	87.5%	—
	難	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	—
	該当なし	25.0%	20.0%	10.0%	14.3%	0.0%	—

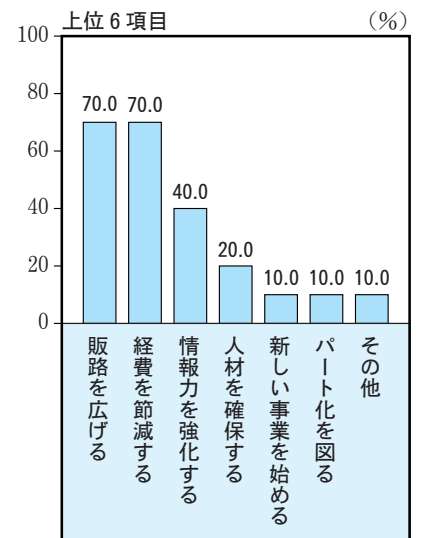
## ◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成23年	平成24年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実 施	した	12.5%	8.3%	10.0%	11.1%	10.0%	0.0%
	しない	87.5%	91.7%	90.0%	88.9%	90.0%	100.0%
状 況	過 剰	12.5%	22.2%	10.0%	12.5%	10.0%	10.0%
	適 正	87.5%	77.8%	90.0%	87.5%	90.0%	90.0%
	不 足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
D I	12.5	22.2	10.0	12.5	10.0	10.0	

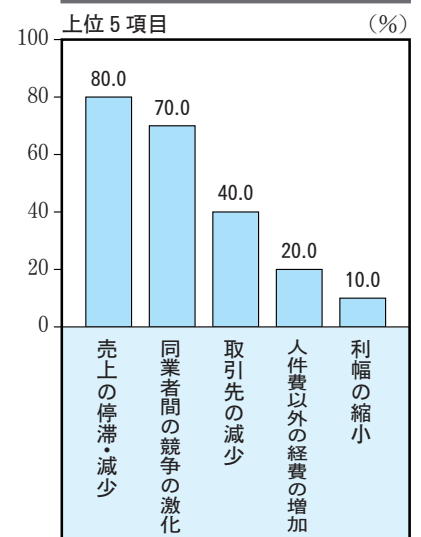
## ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成23年	平成24年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	12.5%	0.0%	11.1%	11.1%	0.0%	0.0%
	不 変	87.5%	81.8%	77.8%	77.8%	88.9%	88.9%
	減 少	0.0%	18.2%	11.1%	11.1%	11.1%	11.1%
人 手	過 剰	12.5%	18.2%	20.0%	0.0%	0.0%	10.0%
	適 正	62.5%	72.7%	80.0%	77.8%	80.0%	70.0%
	不 足	25.0%	9.1%	0.0%	22.2%	20.0%	20.0%

## 重点経営施策（複数回答）



## 経営上の問題点（複数回答）



## 小 売 業 (調査先企業 41社 うち回答企業 35社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**5.7%**（前期**5.4%**）、悪かったとする企業は**42.9%**（前期**64.9%**）で、DI▲**37.2**（前期▲**59.5**）と水面下ながら**22.3**ポイント大きく改善した。

各指標別に見ると、売上額は、DI▲**8.6**（前期▲**40.6**）と**32.0**ポイント増加となった。販売価格については、DI▲**11.5**（前期▲**29.7**）と**18.2**ポイント増加し販売価格の低下は今期落ちつきを見せた。また仕入価格のDIは▲**14.3**（前期**8.1**）と**22.4**ポイント低下し、仕入価格は上昇気味となっている。収益面では、DI▲**17.1**（前期▲**40.6**）と**23.5**ポイント改善した。資金繰りのDIは▲**14.3**（前期▲**29.7**）と**15.4**ポイント改善している。今期借入れをした企業は**38.2%**（前期**30.6%**）で横ばいとなっている。今期設備投資の実施をした企業は**21.1%**（前期**19.0%**）で横ばいとなっており、8割近くの企業は借入や設備投資を行わず営業を続けている。

前年同期比で見ると、売上額はDI▲**34.3**（前年同期▲**33.4**）と水面下で低調に推移した。収益面はDI▲**45.7**（前年同期▲**40.0**）と前年同期より**5.7**ポイント悪化しており、個人消費が低調なため収益の悪化は依然として続いている。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについては、DI▲**60.0**（今期▲**37.2**）と**22.8**ポイント悪化する予想であり、消費の低迷が依然続いており厳しい見通しとなっている。

各指標別では、売上額のDIは▲**34.3**（今期▲**8.6**）で**25.7**ポイント悪化する予想となっており、収益のDIも▲**31.4**（今期▲**17.1**）で**14.3**ポイント低下する見通しである。借入れを予定している企業は**23.5%**（今期実施**38.2%**）と今期より減少する見通しである。設備投資の実施を予定している企業は**21.6%**（今期実施**21.1%**）となっており、小売業における設備投資需要は低水準にて推移する予想となっている。

### ◆DI指数推移

		平成23年	平成24年				予 想
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況		▲50.0	▲46.1	▲31.4	▲59.5	▲37.2	▲60.0
売 上 額		▲13.8	▲20.6	▲25.0	▲40.6	▲8.6	▲34.3
収 益		▲30.5	▲33.4	▲25.0	▲40.6	▲17.1	▲31.4
販 売 価 格		▲5.6	7.7	▲20.0	▲29.7	▲11.5	▲8.8
材 料 価 格		▲13.8	▲15.4	▲2.9	8.1	▲14.3	▲5.8
在 庫		27.8	28.2	16.6	10.8	17.1	8.6
資 金 繰 り		▲22.2	▲25.6	▲16.7	▲29.7	▲14.3	▲17.2

### ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

		平成23年	平成24年				予 想
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
借 入 実 施	した	29.4%	26.3%	28.6%	30.6%	38.2%	23.5%
	しない	70.6%	73.7%	71.4%	69.4%	61.8%	76.5%
借 入 難 易 度	容 易	14.3%	11.1%	17.6%	16.7%	23.5%	—
	不 変	45.7%	58.4%	41.2%	47.2%	44.2%	—
	難	20.0%	11.1%	20.6%	16.7%	14.7%	—
	該当なし	20.0%	19.4%	20.6%	19.4%	17.6%	—

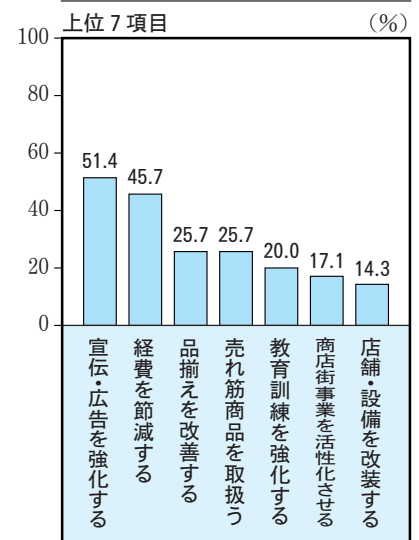
### ◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

		平成23年	平成24年				予 想
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
実 施	した	17.1%	12.5%	18.4%	19.0%	21.1%	21.6%
	しない	82.9%	87.5%	81.6%	81.0%	78.9%	78.4%
状 況	過 剰	3.0%	7.9%	14.7%	8.6%	6.3%	3.1%
	適 正	69.7%	78.9%	64.7%	71.4%	74.9%	78.1%
	不 足	27.3%	13.2%	20.6%	20.0%	18.8%	18.8%
D I		▲24.3	▲5.3	▲5.9	▲11.4	▲12.5	▲15.7

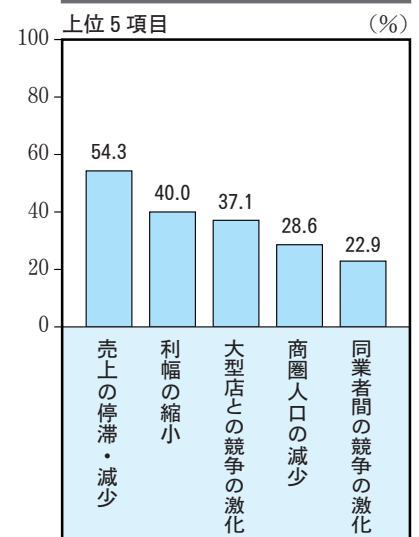
### ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

		平成23年	平成24年				予 想
		10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
残 業 時 間	増 加	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%	12.1%	15.2%
	不 変	90.6%	83.8%	72.7%	85.3%	81.8%	75.7%
	減 少	9.4%	16.2%	21.2%	14.7%	6.1%	9.1%
人 手	過 剰	5.7%	15.8%	14.3%	14.3%	6.1%	3.0%
	適 正	74.3%	71.0%	74.3%	80.0%	81.8%	87.9%
	不 足	20.0%	13.2%	11.4%	5.7%	12.1%	9.1%

### 重点経営施策（複数回答）



### 経営上の問題点（複数回答）



## サービス業 (調査先企業31社 うち回答企業31社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**6.5%**（前期**6.5%**）、悪かったとする企業は**41.9%**（前期**45.2%**）で、DIは▲**35.4**（前期▲**38.7**）と**3.3**ポイント上昇はしているが、低水準であり引き続き厳しい状況が続いている。

各指標別で見ると、売上額はDI▲**38.7**（前期**6.4**）で**45.1**ポイントと大きく低下した。収益のDIも▲**32.3**（前期**3.3**）と**35.6**ポイント低下した。資金繰りのDIは▲**32.3**（前期▲**16.2**）と**16.1**ポイント悪化し、資金繰りの厳しさが更に深まった。借入面は、今期借入れをした企業は**19.4%**（前期**29.0%**）と**9.6**ポイント低下した。借入れが容易とする企業は**6.7%**（前期**6.5%**）、難しいとする企業は**13.3%**（前期**12.9%**）と同水準となっている。仕入価格のDIは▲**12.9**（前期▲**19.4**）で7割以上の企業は、変化なしと回答している。また料金価格のDIは▲**3.2**（前期**6.4**）と**9.6**ポイント低下した。設備の状況については、過剰とする企業は**13.3%**（前期**6.7%**）と増加、不足とする企業は**16.7%**（前期**23.3%**）と僅かではあるが減少となっている。また今期設備投資の実施をした企業は**18.8%**（前期**33.3%**）と減少となっている。

前年同期比で見ると、売上額はDI▲**54.8**（前年同期▲**46.7**）と**8.1**ポイント悪化、収益面はDI▲**61.2**（前年同期▲**40.0**）と**21.2**ポイント悪化しており、6割近い企業が売上減少しており、その結果収益確保が厳しくなっている。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについて、DI▲**71.0**（今期▲**35.4**）と**35.6**ポイント大幅に低下し、全業界のなかでは見通しが一番悪化している。

主な指標で見ると、売上額のDIは▲**61.2**（今期▲**38.7**）と**22.5**ポイント低下する見通しである。収益のDIも▲**64.5**（今期▲**32.3**）と**32.2**ポイント減少し、2期連続で悪化する見通しである。資金繰りのDIは▲**42.0**（今期▲**32.3**）と**9.7**ポイント悪化する見通しである。借入れを予定している企業は**25.8%**（今期実施**19.4%**）と今期より増加する見通しであり、設備投資の実施を予定している企業は**24.2%**（今期実施**18.8%**）と今期より増加する予想である。

## ◆DI指数推移

	平成23年	平成24年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	▲46.7	▲61.2	▲34.5	▲38.7	▲35.4	▲71.0
売 上 額	▲16.7	▲51.6	▲3.4	6.4	▲38.7	▲61.2
収 益	▲26.7	▲54.8	▲10.4	3.3	▲32.3	▲64.5
料 金 価 格	▲10.0	▲9.7	0.0	6.4	▲3.2	▲16.2
材 料 価 格	▲40.0	▲22.6	▲31.1	▲19.4	▲12.9	▲16.1
資 金 繰 り	▲40.0	▲45.1	▲34.5	▲16.2	▲32.3	▲42.0

## ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成23年	平成24年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	23.3%	35.5%	25.9%	29.0%	19.4%	25.8%
	しない	76.7%	64.5%	74.1%	71.0%	80.6%	74.2%
借 入 難 易 度	容 易	7.1%	6.7%	7.1%	6.5%	6.7%	—
	不 変	67.9%	70.0%	57.2%	67.7%	66.7%	—
	難	14.3%	10.0%	25.0%	12.9%	13.3%	—
	該当なし	10.7%	13.3%	10.7%	12.9%	13.3%	—

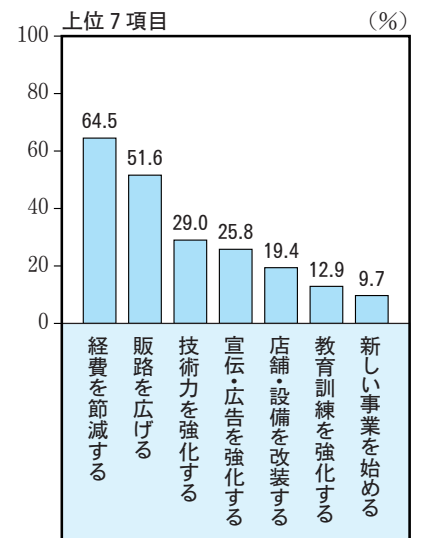
## ◆設備投資の動き（有効回答に占める割合）

	平成23年	平成24年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
実 施	した	16.1%	21.9%	37.5%	33.3%	18.8%	24.2%
	しない	83.9%	78.1%	62.5%	66.7%	81.2%	75.8%
状 況	過 剰	3.3%	10.0%	13.8%	6.7%	13.3%	13.3%
	適 正	70.0%	76.7%	65.5%	70.0%	70.0%	66.7%
	不 足	26.7%	13.3%	20.7%	23.3%	16.7%	20.0%
D I	▲23.4	▲3.3	▲6.9	▲16.6	▲3.4	▲6.7	

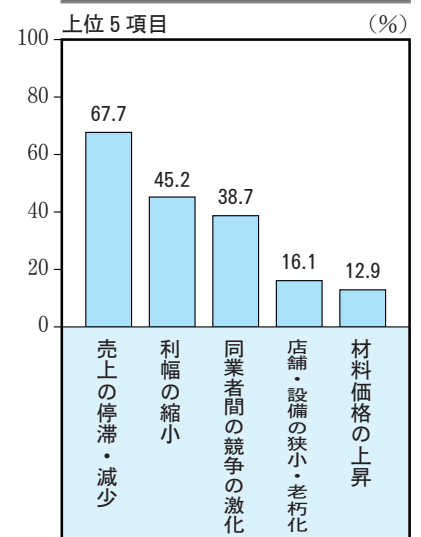
## ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成23年	平成24年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	7.1%	6.9%	10.7%	17.2%	0.0%	0.0%
	不 変	78.6%	65.5%	64.3%	62.1%	82.1%	75.0%
	減 少	14.3%	27.6%	25.0%	20.7%	17.9%	25.0%
人 手	過 剰	6.7%	26.7%	24.1%	6.7%	16.1%	22.6%
	適 正	60.0%	60.0%	72.5%	76.6%	74.2%	64.5%
	不 足	33.3%	13.3%	3.4%	16.7%	9.7%	12.9%

## 重点経営施策（複数回答）



## 経営上の問題点（複数回答）



## 不動産業 (調査先企業6社 うち回答企業6社)

◇**今期の業況**：今期の業況は、良かったとする企業は**0.0%**（前期**20.0%**）、悪かったとする企業は**16.7%**（前期**40.0%**）で、DIは**▲16.7**（前期**▲20.0**）と**3.3**ポイント上昇となっているが横ばい状況である。

各指標別で見ると、売上額はDI**16.7**（前期**▲40.0**）と**56.7**ポイント大きく上昇した。収益面についてはDI**16.7**（前期**0.0**）と**16.7**ポイント上昇した。販売価格のDIは**▲16.7**（前期**0.0**）と**16.7**ポイント低下し、販売価格は今期下降となっている。仕入価格のDIは**20.0**（前期**20.0**）と横ばい状態が続いている。今期借入れをした企業は**0.0%**（前期**20.0**）と減少した。

前年同期比で見ると、売上額はDI**16.7**（前年同期**28.6**）と**11.9**ポイント低下したが、増加したと回答した企業が減少したと回答した企業より2期連続で上回っている。収益面はDI**16.7**（前年同期**28.6**）と**11.9**ポイント低下したものの、収益を出している企業が多い。

◇**来期の見通し**：来期の見通しについてはDI**▲16.7**（今期**▲16.7**）と同水準で推移する予想となっている。

各指標別では、売上額はDI**0.0**（今期**16.7**）と減少する見通しである。収益面についてはDI**0.0**（今期**16.7**）と**16.7**ポイント減少し、売上、収益とも今期よりも減少となる見通しである。販売価格のDIは**▲16.7**（今期**▲16.7**）と変動しない見通しである。仕入価格はDI**20.0**（今期**20.0**）と横ばいの見通しである。借入れを予定している企業は**0.0%**（今期実施**0.0%**）で借入れを予定している企業はない予想となっている。

### ◆DI指数推移

	平成23年	平成24年				予 想
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月
業 況	▲42.9	▲33.3	▲16.6	▲20.0	▲16.7	▲16.7
売 上 額	0.0	▲16.6	0.0	▲40.0	16.7	0.0
収 益	14.3	16.6	33.3	0.0	16.7	0.0
販 売 価 格	▲28.6	▲16.7	▲33.3	0.0	▲16.7	▲16.7
仕 入 価 格	28.6	33.3	50.0	20.0	20.0	20.0
在 庫	0.0	▲16.7	▲16.7	0.0	▲16.7	▲16.7
資 金 繰 り	0.0	16.7	33.3	40.0	16.7	16.7

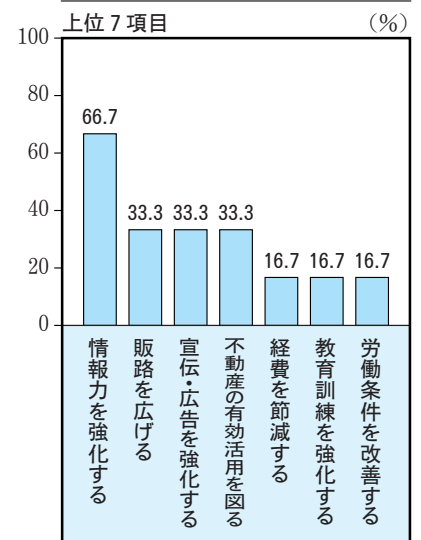
### ◆借入金の動き・難易度（有効回答に占める割合）

	平成23年	平成24年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
借 入 実 施	した	0.0%	0.0%	16.7%	20.0%	0.0%	0.0%
	しない	100.0%	100.0%	83.3%	80.0%	100.0%	100.0%
借 入 難 易 度	容 易	14.3%	16.7%	0.0%	0.0%	0.0%	—
	不 変	42.8%	83.3%	83.3%	60.0%	83.3%	—
	難	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	—
	該当なし	28.6%	0.0%	16.7%	40.0%	16.7%	—

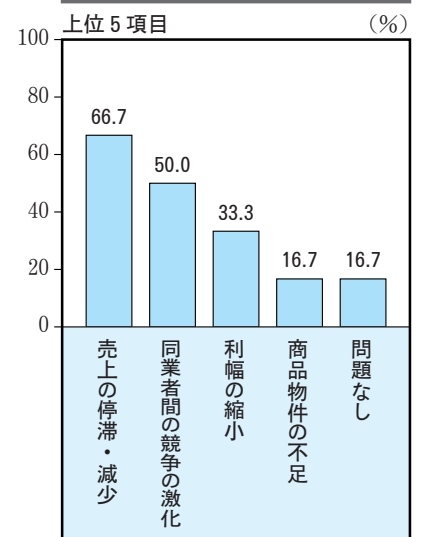
### ◆雇用面の動き（有効回答に占める割合）

	平成23年	平成24年				予 想	
	10~12月	1~3月	4~6月	7~9月	10~12月	1~3月	
残 業 時 間	増 加	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	不 変	100.0%	80.0%	100.0%	100.0%	83.3%	100.0%
	減 少	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	0.0%
人 手	過 剰	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	適 正	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
	不 足	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

### 重点経営施策（複数回答）



### 経営上の問題点（複数回答）





## 特別調査 平成25年の経営見通し

### 問1 貴社では、平成25年の日本の景気をどのように見通していますか。

総合では、「やや悪い」、「悪い」と見込んでいる企業が8割以上となっている。特に製造業では、「やや悪い」、「悪い」と回答した企業は**86.9%**となっており、世界経済の減速や日中関係の悪化などの要因で、日本経済の厳しい状況が当地区にも反映されている。他の業界においても「悪い」と見通している企業は多数あり、「良い」、「やや良い」と回答した企業は**5.4%**しかなかった。

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1.非常に良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2.良い	1.0%	2.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3.やや良い	4.4%	1.3%	7.0%	10.0%	5.7%	6.5%	0.0%
4.普通	8.5%	6.6%	13.9%	20.0%	2.9%	6.5%	16.7%
5.やや悪い	37.3%	34.2%	32.6%	50.0%	45.7%	35.4%	50.0%
6.悪い	44.8%	52.7%	41.9%	20.0%	42.8%	41.9%	33.3%
7.非常に悪い	4.0%	2.6%	4.6%	0.0%	2.9%	9.7%	0.0%

### 問2 貴社では、平成25年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。

総合では、「やや悪い」と見込んでいる企業が**44.8%**であり、次いで「悪い」と回答した企業が**23.9%**であった。両方を合算すれば**68.7%**となり、7割弱の企業が平成25年も業況が厳しいことを予想している。

不動産業を除いた業種で「やや悪い」と見込んでいる企業の割合が一番多かった。特に製造業において**34.2%**の企業が「悪い」と見込んでおり、製造業の多い当地区の経済の厳しさが見てとれる回答となっている。

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1.非常に良い	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2.良い	1.0%	1.4%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
3.やや良い	5.4%	2.6%	14.0%	10.0%	2.9%	3.2%	0.0%
4.普通	22.9%	18.4%	30.2%	40.0%	20.0%	12.9%	66.7%
5.やや悪い	44.8%	40.8%	37.2%	50.0%	54.2%	54.9%	33.3%
6.悪い	23.9%	34.2%	16.3%	0.0%	20.0%	25.8%	0.0%
7.非常に悪い	2.0%	2.6%	0.0%	0.0%	2.9%	3.2%	0.0%

### 問3 平成25年において貴社の売上額の伸び率は、平成24年に比べておおよそどのくらいになると見通していますか。

総合では、「変わらない」、「10%未満の減少」と見込んでいる企業が**61.7%**となっている。上記の問1.日本の景気や問2.自社の状況の見通しの回答内容と比べると、売上額の伸び率に対する見込みは悪化傾向とする回答が少ない。各企業は、新規顧客の開拓や販路の拡大による売上額の確保をすることで売上額を現状維持しようとしており、その企業努力の結果が回答に反映されていると思われる。

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1.30%以上の増加	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
2.20~29%の増加	1.0%	1.3%	0.0%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%
3.10~19%の増加	3.0%	2.6%	4.6%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4.10%未満の増加	13.9%	13.2%	25.6%	20.0%	8.5%	3.2%	16.7%
5.変わらない	26.9%	19.7%	30.2%	30.0%	25.7%	32.3%	66.6%
6.10%未満の減少	34.8%	30.3%	23.3%	30.0%	54.3%	48.4%	0.0%
7.10~19%の減少	13.4%	17.1%	16.3%	0.0%	5.7%	12.9%	16.7%
8.20~29%の減少	6.5%	14.5%	0.0%	0.0%	2.9%	3.2%	0.0%
9.30%以上の減少	0.5%	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

**問 4 貴社では、自社の業況が上向く転換点をいつ頃になると見通していますか。**

総合では、「6 か月から1年後」と見込んでいる企業が**32.3%**、対照的に「3年超から見通しは立たない」と見込んでいる企業が**44.9%**と2つに大きく分かれた回答となった。特に建設業・小売業・サービス業においては「見通しは立たない」と見込んでいる企業の割合が多い。また、製造業においては「6ヶ月～1年後」と見込んでいる企業が**48.0%**あるのに対し、「見通しが立たない」と回答した企業が**28.0%**と両極端となっており、企業間の格差が見られた。

	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1.すでに上向いている	6.6%	4.0%	14.0%	0.0%	5.9%	3.3%	16.7%
2.6ヶ月以内	10.6%	16.0%	11.6%	10.0%	5.9%	3.3%	0.0%
3.1年後	21.7%	32.0%	9.3%	30.0%	20.6%	10.0%	33.3%
4.2年後	6.6%	4.0%	4.7%	10.0%	11.8%	6.7%	16.7%
5.3年後	9.6%	4.0%	11.6%	20.0%	17.6%	6.7%	16.7%
6.3年超	10.6%	12.0%	11.6%	10.0%	5.9%	13.3%	0.0%
7.業況改善の見通しは立たない	34.3%	28.0%	37.2%	20.0%	32.3%	56.7%	16.6%

**問 5 貴社では、平成25年以降を見通した場合、どのような経済的ないし社会的な事象が経営に影響を及ぼすと考えますか。**

複数回答であるため各項目に回答が分散しているが、「政府の混迷」と「消費税率の引き上げ」の回答が全業種で圧倒的に多かった。アンケートを実施した時期が11月下旬から12月上旬にかけてであったため、特に回答が重複した。特に「消費税率の引き上げ」は、駆け込み需要による一時的な売上増がある反面その反動も大きいとの予想もあり、各企業の今後の経営に対する一番重要な事象であることが伺える。

【複数回答】	総合	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	不動産業
1.国内政局の混迷	50.2%	47.4%	55.8%	70.0%	37.1%	51.6%	83.3%
2.消費税率の引上げ	68.7%	50.0%	76.7%	100.0%	71.4%	87.1%	83.3%
3.海外経済の減速	21.4%	47.4%	14.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%
4.アジア諸国との関係悪化	13.4%	19.7%	7.0%	0.0%	17.1%	6.5%	16.7%
5.円高の長期継続	23.4%	35.5%	20.9%	10.0%	11.4%	16.1%	16.7%
6.原材料価格・資源価格の高騰	29.9%	15.8%	48.8%	40.0%	34.3%	35.5%	0.0%
7.電力供給不安の長期化	5.5%	6.6%	7.0%	0.0%	5.7%	3.2%	0.0%
8.企業の海外移転による国内産業空洞化	20.9%	34.2%	11.6%	10.0%	22.9%	3.2%	16.7%
9.廃業・倒産の増加	18.4%	10.5%	27.9%	30.0%	14.3%	22.6%	33.3%
10.その他	2.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.7%	6.5%	0.0%

商品のご案内	
お使いみち	ご自由(事業性資金もOK!)
お申込みいただける方	<ul style="list-style-type: none"> <li>●満20歳以上、完済時75歳以下の個人または個人事業主の方</li> <li>●当金庫の営業地域内に居住または勤務されている方</li> <li>●安定継続した収入のある方(パート、アルバイト、年金収入の方もOK)</li> <li>●世帯収入のある専業主婦(夫)の方</li> </ul>
ご融資金額	10万円以上300万円以下(1万円単位)
ご融資利率	<ul style="list-style-type: none"> <li>●年9.0%(保証料を含む) 固定金利</li> <li>●保証会社の審査により年9.0%でお取扱できない場合は、固定金利13.5%(保証料込)のタイプで同時手続きさせていただきます。</li> </ul>
ご融資期間	6ヶ月以上7年以内
ご返済方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>●元利均等定額返済(ご返済日は毎月6日・16日のいずれかの日となります)</li> <li>●お申込金額の50%以内についてボーナス併用返済もご座います。</li> </ul>
担保・保証人	不要【(株)クレジットの保証付】

●詳しくは当金庫各支店窓口までお問い合わせください。  
 ●店頭商品概要説明書をご用意しております。  
 ●審査結果によってはお申込金額の減額またはご希望に添えない場合があります。